

令和4年度「体験！どきどき防災キャンプ」

【～学ぼう防災！やってみよう避難生活！自分や家族の命を守るために！～】

募集要項

期 日

令和4年11月26日(土)～11月27日(日) 1泊2日【予備日:令和4年12月3日(土)～12月4日(日) 1泊2日】
※予備日で船舶欠航等で渡嘉敷島に渡れない時は、沖縄県立糸満青少年の家での実施となります。

日 程

11/26 (土)	9:00		乗船	10:00 フェリーと かしき		11:30 移動	12:00 昼食（食堂）		13:00 講話 「災害の 時の心 構え」	14:00 実習① 「防災グッズつくってみよう！」		17:00 ドボン料理（調理 実習）	18:00 夕食 （ドボン料理）	19:00 実習② 「防災体験」		20:30 入浴	22:00 就寝
11/27 (日)	6:00 起床・清掃	7:40 朝食（食堂）	8:45 清掃 チェック	9:00 ダンボール ベッド 撤収		10:00 講義・実習 「こんな時どう する？」		12:00 昼食（食堂）		13:00 ふり返り	14:00 エン ディング	14:30 移動	15:30 フェリーと かしき	16:40 泊港着 解散			
	往路：泊港10:00発 渡嘉敷港11:10着 「フェリーとかしき」 復路：渡嘉敷港15:30発 泊港16:40着 「フェリーとかしき」																

往路:泊港10:00発 渡嘉敷港11:10着 「フェリーとかしき」
復路:渡嘉敷港15:30発 泊港16:40着 「フェリーとかしき」

※日程については都合により変更になる場合があります。

※上記日程を修了した者には参加証を発行します。

【事業のねらい】

防災・減災の基本的な考え方として事前対策は大切ではあるが、本事業では、被災後の生活に焦点をあてる。「ドボン料理」や「ダンボールを使った簡易ベッド作り」等の防災に関する知識・技能を学び、被災後の避難所生活を疑似体験することで防災に対する意識を高め、被災時に何ができるのかを自ら考えて行動できる児童の育成を図る。

また、より深化し、特色ある防災プログラムを開発し、学校や地域に普及啓発し国土強靱化につなげていくことを目的の一つとして、琉球大学講師である城間吉貴氏と連携協働しながら調査・研究を行う。

主 催 独立行政法人国立青少年教育機構 国立沖縄青少年交流の家
後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社
場 所 国立沖縄青少年交流の家
対象・定員 沖縄県在住の小学生（4～6年生） 20名（応募者多数の場合、抽選とします。）

費 用 ○参加費 3,500円（※食費、保険料、シーツ代、材料費、雑費等）
○船 賃 1,610円（フェリー往復）
○貸切バス代 1人あたり 1,000円程度 ※ 宿泊代無料
※参加費、島内バス代は渡嘉敷島で徴収します。おつりのないようご協力ください。



QRコード

申 し 込 み (1)下記URLにアクセス、又はQRコードを読み取って申込みフォームに必要事項を入力ください。
※申込みフォーム募集期間中のみ開示されます。
メール、FAXで申込希望の方は裏面の申込用紙に必要事項を記入の上送信し、午前9時以降お電話にて受信確認をお願いいたします。

(2)申し込み受付期間 令和4年10月26日(水) 9:00～11月9日(水) 17:00

※申込者多数の場合は抽選とします。 抽選の結果は11月11日(金)までにはご連絡いたします。

持 ち 物 ○体調管理シート ○マスク(2枚) ○体温計 ○帽子 ○着替え(1泊2日分) ○タオル ○筆記用具
○野外で活動しやすい服装等 ○マイカップ(水筒可) ○洗面・入浴用具(歯ブラシ、シャンプー、石けん等)
○健康保険証 ○履きなれた靴 ○防寒着(長袖等) ○屋内用スリッパ ○懐中電灯
○常備薬(必要な方) ○ドライヤー(必要な方) ○酔い止め薬(必要な方)
※参加費や島内バス代以外のお金や携帯電話、ゲーム等は持参しないでください。
※カメラや腕時計等の器と湯品は各自の責任で管理してください。

集 合 11月26日(土) 泊港で受付後に、各自でチケットを購入しフェリーにて渡嘉敷港へ。

申込書は裏面 →

問い合わせ：国立沖縄青少年交流の家 担当：鈴木 英範

TEL 098-987-2306

FAX 098-987-2318

HP <https://okinawa.niye.go.jp>

E-mail okinawa@niye.go.jp

